

総合型選抜 第1次試験

○適性検査

総合型選抜の第1次試験では、単なる知識の暗記ではなく、初めて聞く講義から情報を整理し、論理的に答えを導き出す力を重視します。そのため、科学的思考と論理的思考の2つの側面についての講義を行い、それぞれの講義についての試験を実施しました。

○適性検査（科学的思考）

医療の中で活用される放射線に関する基礎知識についての講義を行い、講義内容に関する設問を通して、科学的思考力を問うものとした。

○適性検査（論理的思考）

医療現場で求められる倫理判断に関する基礎知識についての講義を行い、講義内容に関する設問を通して、論理的思考力を問うものとした。

以上の適性検査を通じて、科学的思考力ならびに論理的思考力の面から大学入学後の学修能力の適性について判断することを意図した。

総合型選抜 第2次試験

【一般枠】

○学習活動計画書

受験生自らが記載した資料に基づき、学習ならびに活動についての計画力、表現力を捉えるようにしました。

○実習演習課題

[薬学部]

基本的な化学計算・化学実験を実施させ、入学後の学修に求められる化学的な素養（知識・技能）を評価しました。また、計算の正解だけでなく、実験中の評価者との質疑応答を通じてコミュニケーション能力を評価の対象としました。

[看護学部]

医療に関する2テーマのグループ討議を実施しました。グループ討議は、1テーマについて30分間とし、3名の監督者が討議中の発言内容（思考力、判断力、表現力）、および役割分担（協調性、議論の推進力）などについてルーブリックに基づき評価しました。

[リハビリテーション学部理学療法学科]

医療に関するテーマについてのグループ討議を実施しました。グループ討議は、予め準備された資料を用いながら、60分程度の討議を行い、発表用資料にまとめていただきました。複数人の監督者がグループ討議内での様子を観察し、受験生一人一人の思考力・判断力・表現力を捉えると共に、グループ討議における主体性・協調性を評価しました。

[リハビリテーション学部作業療法学科対象]

青年期における生活習慣に関わるテーマを与え、10分間の個人ワークに取り組みさせた後、40分間のグループ討議を実施し、複数人の監督者がグループ討議内での様子を観察し評価をしました。加えて、グループ討議終了後に、グループ討議中の役割や学びについての振り返り（10分間）を実施していただき、リフレクションシートを提出して頂きます。これらの課題を通して、思考力、協調性、表現力等についてルーブリックに基づき評価しました。

○面接

個人面接（10分）とし、志望理由を確認するとともに、学習活動計画書をもとに計画性、思考力、表現力等を捉えるようにしました。

【探究評価枠】

[プレゼンテーション・面接]

実施した探究活動についてプレゼンテーション（5分間）を行い、発表内容について質疑を行います。探究活動における役割（主体性）や考察（思考力）、発表態度（表現力）等を中心に評価しました。質疑に続いて個人面接を行い、志望動機について確認するとともに、高校時代に取り組んだ探究活動が、将来、医療人（薬剤師・看護師など）としてどう活きると考えているかなどの思考力、判断力、表現力等についても確認を行いました。

[探究活動概要説明書]

実施した探究活動について A4 用紙 1 枚にまとめていただき、論理力ならびに表現力を主として評価しました。

【卒業生子女枠】

○面接

個人面接（10分）とし、建学の精神、アドミッションポリシーについての理解ならびに志望理由、将来への思いを確認させていただき、さらに、学習活動計画書をもとに計画性、思考力、表現力等を捉えるようにしました。